

平成 30 年度

職員研修(非違行為防止研修含む)の取組

千曲市立五加小学校

本校職員は、教職員としての職能の向上や自覚の再認識などを目的として各自の計画に基づき主体的な研修を行ってきております。また、年間計画などで定期的な『職員研修』の時間を設定し、全教職員で同一のテーマについて研修を深めてきております。

以下に、今年度実施してきた研修について、お知らせします。

1 職員研修(非違行為防止研修を含む、定期研修)

月日	研修テーマ	研修内容	要点及び様子
4. 2	年度当初の再確認	<ul style="list-style-type: none"> 五加小の教育方針 交通安全等の宣誓 	<ul style="list-style-type: none"> 学校長から示された今年度の教育方針や重点を全職員で共通理解した。 教職員としての自覚と責任についての宣誓書を作成した。
4. 3	ICT研修 非違行為防止研修	<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティポリシー 	<ul style="list-style-type: none"> 五加小学校の情報システムの運用、利用をする際に「何を」「なぜ」「どのように」「どの程度」セキュリティ維持のために対策するかの指針を確認。
5. 16	児童理解	<ul style="list-style-type: none"> 児童の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 新年度一カ月間の様子をふまえ、全校児童の共通理解と情報共有を行い、指導に活かせるようにした。
6. 6	不登校への対応	<ul style="list-style-type: none"> 手引書を活用して 	<ul style="list-style-type: none"> 県教委「不登校への対応の手引きH30改訂版」の第1章から第3章を資料に、対応についての研修を行った。
6. 19	人権学習	<ul style="list-style-type: none"> 人権研修会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 千曲市総合教育センター主催の人権研修会に参加し、指導主事の先生の講義を聞いたり意見交換したりした。
6. 27	ICT研修	<ul style="list-style-type: none"> プログラミングの初歩 	<ul style="list-style-type: none"> 千曲市情報教育技術支援員の先生を講師として、今後本格実施を迎えるプログラミングについて研修した。
7. 4	体罰・いじめ	<ul style="list-style-type: none"> 体罰について いじめ認知の共通理解 	<ul style="list-style-type: none"> 体罰の処分事案の資料を基に職員間で考え合う。 県教育センター研修の資料を基に、いじめの定義についての研修を行う。
7. 13	学校保健委員会	<ul style="list-style-type: none"> ネットとの上手なつきあい方 	<ul style="list-style-type: none"> 丸子中央小学の校長先生を講師として「心身の健康面からネットとの上手なつきあい方」について、保護者の方々と一緒に研修を行った。
7. 27	ICT研修	<ul style="list-style-type: none"> 賞状を簡単に作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> 一太郎やワードの「差し込み」機能を活用して、能率的なマラソン記録会の記録証などの作成の仕方を学んだ。

8.20	非違行為防止研修	・懲戒処分の指針	・県教委の「懲戒処分等の指針」を再確認し、自己の行動を振り返った。
8.29	I C T 研修	・ジャストスマイルを使って	・グーグルマップをジャストスマイルを利用して加工し、社会科の地図学習教材等の作成について研修した。
9.5	学校防災計画	・五加小防災計画確認	・本年度整備した「学校防災計画」の内容について共通理解を図った。
10.10	非違行為防止研修	・セルフチェック ・もたらす悪影響の確認	・「五加小学校版非違行為防止チェックシート」に記入しながら、自己の行動を振り返り、今後の決意を記した。 ・非違行為がもたらす悪影響について、資料を基に再確認した。
11.7	非違行為防止研修	・個人情報紛失事例から	・事例を基に、本人や同僚等はどうのように対処すべきであったか考えたり、小集団で意見交換したりした。
12.5	非違行為防止研修	・酒気帯び運転事例から	・事例を基に、本人や同僚等はどうのように対処すべきであったか考えたり、小集団で意見交換したりした。
1.8	非違行為防止研修	・ストーカー行為事例から	・事例を基に、本人や同僚等はどうのように対処すべきであったか考えたり、小集団で意見交換したりした。
2.27	非違行為防止研修	・ソーシャルメディア事例から	・事例を基に、本人や同僚等はどうのように対処すべきであったか考えたり、小集団で意見交換したりする。(予定)

2 学習指導に係る重点研究

教科指導をはじめとする児童への指導力向上を目指して、研究グループを組み、研究主任の元計画的に研修を実施。今年度は、「特別の教科道徳科」と「外国語活動・外国語」の2グループに分かれて研修を深めてきました。

道徳科 研究グループ	・道徳の教科化を控え、教科書を使った道徳科授業のあり方及び評価のあり方などについて研究を深めてきた。10月12日の教育課程研究協議会では、2年竹組で実践発表をするなど、教科化の本格実施に向けた研究を深められた。
外国語 研究グループ	・5,6年の英語授業の本格実施を控え、授業時数の確保の仕方や評価の方向性を探りながら、指導のあり方について研究を深めてきた。主事やALTの先生方の指導助言を受けながら、来年度の教育課程研究協議会での実践発表に向けても研究を進めた。

3 学級経営に係る研修

各担任は「学級経営案」および「年間指導計画」を作成して、学級経営を行っています。「経営案」(5月)「中間報告」(11月)「反省」(2月)の3回、各連学年の中でお互いの実践について検討し合ったり参考とし合ったりする機会を設けて、日々の学級経営の充実を目指してきています。今年度も、2月27日(水)に一年間のまとめを実施する予定です。